

香川県高等学校総合体育大会卓球競技にあたっての安全対策ガイドライン

1. 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

- (1) 顧問は必ず、選手および保護者から大会参加の承諾書を取り、校長の責任のもとに申し込みを行う。承諾書は各校顧問が保管する。
- (2) 大会参加を強要することがないよう配慮する。
- (3) 発熱等の症状がみられる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に關しても各校顧問は選手の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速やかに帰宅させること。
- (4) 参加者は大会等の2週間前から健康チェックシート表(様式1)を記録し、その表は学校ごとに保管する。当日の参加については、大会2週間前のチェック状況から適切に判断すること。

2. 大会中の具体的な感染症対策

- (1) 無観客試合とし、会場への入場は選手、顧問、引率者、役員のみとする。会場への入場は学校毎とし、入口で顧問から生徒の健康状態を報告(様式2)することとする。
 - ・6月5日(土)の入場は、エントリーメンバー(最大7名)と審判要員1名とする。
 - ・6月7日(月)の入場は、勝ち残っている選手のみとする。
- (2) 競技会場において、手洗いや咳エチケット(試合中以外はマスクの着用)などの基本的な感染症対策を徹底する。
- (3) 会場出入口には消毒液を設置し、トイレには石鹸を準備する。
- (4) 参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール消毒する。
- (5) 観覧席はスペースを空けて着席させるとともに、応援は拍手のみとする。
- (6) 定期的に換気を行う。
- (7) 更衣室の利用については短時間・少人数で利用するよう指導する。
- (8) 開閉会式は簡略化して行う。
- (9) 公共交通機関を利用して移動する際には、必ずマスクを着用するとともに乗車マナーを遵守すること。

3. 試合中の具体的な感染症対策

- (1) 各台にアルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒する。
- (2) 選手同士および選手と審判の握手は行わない。
- (3) 選手はプレー中大きな声を出すことを控える。
- (4) タオルや飲料は共有を避け、個人のものを使用させる。
- (5) 日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。